



「交通事故による顔面マヒの症状がなくなりました」

悪七和美聖徒 (山形万民教会)

2007年8月12日、センターラインを越えてきた対向車と正面衝突する大事故にありました。

この事故で顔は傷だらけ、全身、怪我をしなかったところがありませんでした。救急室に運ばれて大手術を受け、死線をさまつたあけく三日後に意識が戻りました。事故現場に立ち会った警官は「100%相手の過失だとはっきりした」と言い、「警官になって43年間、こんな大きい交通事故で生き返った人は初めて見ました」と驚きました。

しかし、顔面マヒ症状があつて、からだは壊れたようにうずいて痛かったです。それで理学療法を受けなければならなかったのですが、回復する保障もなく、かなり長く痛みが伴いました。

2009年1月、知り合いの女性がお見舞いに来て、山形万民教会(担任チャン・カンソプ牧師)と一緒にいこうと言いました。その当時、インターネットでキリスト教放送(CBS)で礼拝をささげていた私は、聖殿に行きたいと思っていました。主日に山形

万民教会に行つて、礼拝をささげました。

山形万民教会はソウルの万民中央教会の支教会の一つで、衛星放送で礼拝をささげていました。堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教に大いに恵みを受けた私は、万民中央教会のホームページにある先生の他の説教を聞いて、信仰書も購入して読みました。私は神様に感謝して、聖霊に満たされた日々を送っていました。

昨年9月、堂会長先生が導かれたイスラエル連合聖会をインターネット生放送で参加しながら、いやしのみわざを体験しました。

聖会の初日には、それまで膝が曲がらなかったのですが、ひざまずけるようになって、二日目には、腎臓が悪くてトイレに行くのがつらかったのがいやされました。

この体験の後、私は韓国に行つて堂会長先生に必ずお目にかかりたいと思っていました。今年5月31日から二週間、韓国に行く機会が与えられて、断食で備えた私は、慕う心で万民中央教会を訪れました。

ところが、入国したその翌日から、神様は交通事故の後遺症をいやしてください始めました。6月1日、早天祈禱会ではチョ・スヨル牧師先生にハンカチの祈りを受けた後、額の部分のマヒが消えました。翌日にはあんなに慕っていた堂会長先生にお目にかかりましたが、その感激は言葉で表現できません。

6月3日にムアンの甘い水の泉を訪れましたが、泉に七回身を浸した後、天使が見たいと思って太陽を見ました。ところが、白い光が太いむちになって降りてくるかと思うと、刃物のかたちになって、それがますます伸びてきながら、私の顔の近くまで迫ってくるのです。

後にはそれが十字架だとわかりましたが、周りにはピンクの光が出ていて、大きい感動のうちに主が共におられたことが感じられました。夕方、宿舎に帰って確認してみると、今まで血の気がなかった顔に血色が戻り、手術の跡でしわくちやっていた部分が伸びていました。これを見た一行は一緒に喜んで、神様に



心の願いを抱いてムアンの甘い水に身を浸して祈っている。

栄光を帰しました。その翌日の6月4日、金曜徹夜礼拝の前に堂会長先生にムアン甘い水の泉で体験した証しをして祈りを受けました、すると目の周囲と唇に残っていたマヒさなくなつて、交通事故後遺症の苦しみから完全に解放されました。ハレルヤ!



センターラインを越えてきた車と正面衝突する大事故で奇跡的に生き返つたが、後遺症で長く苦しんだ。

01 ニュース

医学で聖書がまことであることを確認する
ローマWCDN国際医学学会
マンミン国際神学校日本キャンパス(飯田)開校礼拝および入学式

02 いのちのみことば

信仰の量り(24)
信仰の五段階の特徴の第三、「全家を通じて忠実」とは?

03 人体の神秘

いのちの息といのちの種
最初の人アダムにいのちの息を吹き込んで、アダムの子孫にはいのちの種を下された、神の驚くべき愛の創造のみわざ

04 証し

「交通事故による顔面マヒの症状がなくなりました」
悪七和美聖徒(山形万民教会)

万民ニュース

第93号 2010年 7月 25日
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

医学で聖書がまことであることを確認する ローマWCDN国際医学学会、40か国270人余りが出席



5月21日と22日、WCDN第7回国際キリスト教医学学会がイタリアのローマで「霊性と医学」をテーマに開かれた。

日本支教会8月スケジュール

8/16(月)	八千代万民教会 ハンカチ集会 (講師: 青木久尚牧師)
8/22(日)	東京田端万民教会 ハンカチ集会 (講師: チョン・ギョングテ牧師)
8/25(水)	飯田万民教会 ハンカチ集会 (講師: ユ・スングイル牧師)
8/25(水)	山形万民教会 ハンカチ集会 (講師: チャン・カンソプ牧師)
8/28(土)	名古屋万民教会 ハンカチ集会 (講師: 時國みや子牧師)
8/29(日)	東京万民教会 ハンカチ集会 (講師: チェ・ビョナンン伝道師)

フォトニュース 韓国伝統芸能サマーコンサート



7月8日(木)、飯田市人形劇場で200人余りが参加した「愛・あなたに伝えたい—韓国伝統芸能サマーコンサート」で、飯田万民教会芸能チームとMMTC短期宣教チームが公演している。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
http://jiidamanmin.to/cv/
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市中東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌島町
5-775-15
T) 072-220-5289
http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
http://tabata.manmin.or.kr/

- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇安久 138
T) 0773-75-5656
http://www.manmin.jp/
- ・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト鎌田万民教会
〒311-2102 茨城県鎌田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京杉田万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843



左からロベルト・フェルナンデス・ピニャ博士、ジョン・クレンドゥル博士、チェアレ・キネリ博士、フィデル・フェルナンデス博士

WCDN(世界キリスト教医師ネットワーク)主催、第7回国際キリスト教医学学会が5月21、22日の二日間、イタリアのローマ・シェラトホテルのコンファレンスセンターで開催された。

この学会にはアメリカ、ロシア、イギリス、オーストラリア、ブラジル、ウガンダ、インドなど40か国から270人余りの医師たちが参加した。

神の力によっていやされた多くの事例の中から、厳正な審査を経て七つの事例を最終選抜、医学的な資料に基づいて発表があった。中でもアメリカのプロリダ・ファームピーチ心臓病専門医ジョン・クレンドゥル博士の心臓マヒで死んだ後に生き返った事例、マレーシアの産婦人科専門医テマリ博士の早期羊膜破裂による羊水過小症による流早産の危険の中、健康な子

どもを出産した事例、イタリアのパルマ大学小児外科チェサレ・キネリ博士の小児神経外科部門のいやし事例、フィレンツェの病理学専門医フィデル・フェルナンデス博士が発表した胃がんのいやし事例などが大きな拍手を得た。

このうち羊水過小症と胃がんのいやしは、万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって折つて現れた、神のみわざである。発表内容に関する質問と討論を通して、生ける神の力が確認された。また、心臓内科専門医であり、世界的な成体幹細胞専門医ジョン・クレンドゥル博士の特別講演「成体幹細胞とその応用」は大きい反響があった。最後に、来年6月にオーストラリア・ブリスベンで開催予定の第8回学会の

案内があつて、学会は盛況裡に終わった。

使徒パウロの殉教地ローマで開かれた今回の学会では、これまでに増して質的に優れて豊かないやし事例発表があり、第三の跳躍期、収穫の年の元年を迎えた万民中央教会の福音宣教にとっても、もう一つ実を結ぶことになった。

参加した医師たちは「今までの学会よりいろいろな面で一段階跳躍した学会だった」「いやしの事例と講演一つ一つが生ける神の力あるわざを証しする優れたものだった」と口を揃えて言った。

また、今回の学会では、イタリア語に翻訳された堂会長イ・ジェロク牧師の信仰書『十字架の主』などを紹介、いのちのみことばに渴いている多くの医師たちに大きな感動を与えた。その他にも、万民中央教会の芸能委員会所属の光の声重唱団の15か国語の賛美と、チャン・ミ執事の特別賛美も「すばらしい」と評価された。また、この学会には外信記者が参加、現場取材報道し、中でもTBNヨーロッパテレビ放送は学会全体の状況を録画した。



(上)イタリア国際キリスト教医学学会代表団が記者の質問に答えている。(下)特別賛美をしたチャン・ミ執事と光の声重唱団

- WCDN(World Christian Doctors Network) キリスト教医師の集いで、世界各地で起きている神によるいやし事例を医学資料に基づいて分析し、神は生きておられ、聖書はまことであることを証して、医療関係者や知識人を目ざめさせることを目的とする超教派団体である。毎年学会が開かれ、これまで韓国のソウル、インドのチェンナイ、フィリピンのセブ、アメリカのマヤミ、ノルウェーのトロンハイム、ウクライナのキエフであった。

マンミン国際神学校日本キャンパス(飯田)開校礼拝および入学式

5月11日(火)、飯田万民教会教育館ホールでマンミン国際神学校(MIS)日本キャンパス(飯田)開校礼拝および入学式があつた。

十字架のことは、信仰の量り、五重福音、聖霊論、日本の文化歴史と信仰などの科目を聖書研究過程(1年)、教会働き人養成課程(2年)、神学過程(3年)に分けて、毎週火曜日午後7時から50分ずつ3科目、

講義がある。新生・聖潔・神癒・復活・再臨の五重福音を慕う全世界の牧会者の要請で2004年に設立されたMISは、現地キャンパスおよびオンライン講座を通して、理事長イ・ジェロク牧師が宣べ伝えている「十字架のことは」「信仰の量り」「霊、たましい、からだ」等のいのちのみことばを海外の主のしもべと働き人を対象に教育している。

信仰の量り(24)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

「しかしわたしのしもべモーセとはそうではない。彼はわたしの全家を通じて忠実な者である。」(民数記12:7)

信仰の五段階は第一に、神のみこころに完全に聞き従い、いのちまでささげられる信仰であり、第二に、数え切れない祈りを積んでしと不思議を行なう段階と言いました。今回は前回に続き、信仰の五段階の特徴の第三、「全家を通じて忠実である」について伝えます。

1. 全家を通じて忠実であるには

神様が言われる「忠実」とは、自分に任せられたこと以上をやり遂げることです。たとえば、ある人に給料をあげて仕事を任せるとき、それだけをよくやったからといって「忠実だ」と言いません。代価を受け取った分、当然すべき事をしただけです。しかし、給料をもらって働く人でも、「任されたこと以上をしなければならぬ」と思って、自分の時間と物質と身を惜しまずに仕事をしていく時は「忠実だ」と言えます。

歴史的にも、禄を受けるか受けないか、それが多いか少ないか、そんなことは意に介さずに、自分の果たすべき事をあふれるように果たした場合に、忠臣だと認められました。たとえば、韓国のイ・スンシン將軍は、謀略にかかって牢に閉じ込められた時も王を恨まなかったし、官職をすべて奪われずのまま戦場に出て行くようになった時も、何の不満も持たずに命を尽くして戦ったし、ついには激しい闘いの中で戦死するまで、誠実と献身は変わることがありませんでした。世でもこういふ人々を「忠実な人」と言うのです。

したがって、私たちが「忠実であった」とほめられるためには、自分に任せられた使命以上を果たすことによって、神の国にとって益にならなければならないのです。信仰の四段階に入った人は、霊的に誠実であると認められます。聖められて信仰の四段階に入った人には、御霊の実が結ばれているので、「誠実」の実も当然結ばれているのです。この誠実の実が「全家を通じて忠実」にまでなるためには、信仰の五段階に入って、すべての御霊の実が100パーセント結ばれていなければなりません。

たとえば、「誠実」が「全家を通じて忠実」という実を結ぶまでは、必ず相手の益のために自分を犠牲にして献身する過程が必要で、霊の「愛」なしには、犠牲になって献身することができません。また、「自制」の実が欠けているなら、いくら誠実であったとしても、他の面ではちょっとおろそかになることもあります。「平安の実が完全に結ばれていなければ、事を進めていく過程でぶつかって、周りの人の心を傷つけることもあります。このように平和が破られたまま誠実に働いても、神の御前に全き報いとして積まれないのです。ですから、霊的に誠実であるものの、さらに全家を通じて忠実であるためには、誠実の実だけ優れていればよいのではなく、いろいろな御霊の実がすべて結ばれていなければなりません。

2. 全家を通じて忠実であるという意味

「全家を通じて忠実である」とは「自分に与えられたすべての使命を完全に果たすものの、任された職務と与えられた代価以上をあらゆる分野で十分に果たすこと」です。信仰生活してみると、主にあつていろいろな使命を任せられるようになります。その使命を誠実に果たしますが、任されたあらゆる分野に心を尽くして果たすことが、まさに全家を通じて忠実であることです。いろいろな使命の中には、重要だと思われて人に認められる使命もあり、あまり重要でないと思われて人に認められないように見える使命もあります。しかし、全く聖なるものとされた人は、人に見て大きい事でも小さい事でも、神様が下さったすべての使命を尊く思うので、同



堂会長イ・ジェロク牧師

じように心と思いと最善を尽くして果たします。

ところが、全家を通じて忠実であることはたやすくありません。ある場合は、使命が三つ、四つだけでもよく果たすために努力しますが、使命が多くてあまりにも忙しいと、すべての分野に気を遣えない場合もあります。ある使命は大きくて急いで果たさなければなりません、ある使命は緊急ではないために後回しにするならば、結局おろそかにする場合もあります。しかし、全く聖なるものとされた人は、いくら多くの使命を持っていても、十分にあらゆる分野で忠実であり、実を結ぶことができます。それは、完全な神様の心に似せられて、キリストの心を持っているからです。霊である神様の心は無限の空間であり、いくら多くのことでも十分にいじくることがおできになります。人類の歴史のすべての過程も、数えきれない人々の人生も、神様はまるで手の平を見ているかのように心にすべて入れて、つかさどっていかれるのです。

信仰の五段階、全く聖なるものとされた人は、もちろん神様と同じ水準ではありませんが、霊である神様の属性に似せられて、いくら多くの魂でも、いくら多くの事でも、十分に心にいじくります。また、神の国のために、そして神様がゆだねてくださった魂のために、自分のいのちまで与えられる愛があります。その切なる愛をもって心にいじくって祈り求めるので、自分が任されたあらゆる分野で神様のみわざが引き下ろせるのです。

もちろん、あらゆる分野を同じように心にいじくって、尊く思って最善を尽くすことが、すべての使命に同じ時間を割いて、同じように緊急に思うという意味ではありません。明らかに緊急な事があって、後でする事が、相対的に多くの時間を使わなければならない事があります。しかし、全家を通じて忠実である人は、数多くの使命のうち、どんな使命も軽く思わなくて、聖徒がどんなに多くても、だれひとりおろそかに対さないという意味です。時間を少なく使おうが多く使おうが、どんな分野でも、心構えそのものが誠意と誠実を尽くして果たすようになるのです。

3. 全家を通じて忠実である秘訣は、心でいじく、実を結ぶこと

使徒パウロは多くの教会を開拓して巡りながら、数多くの魂をいつも心にいじくって、父なる神様の前に祈りました。コロサイ人への手紙(1:9前半節)にこういわれて、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。」とあり、(テサロニケ人への手紙第一:12)には「私たちは、いつもあなたがたすべてのために神に感謝し、祈りのときにあなたがたを覚え。」とあります。その他にも、数多くの教会といつも共にはできないけれど、彼らのためにいつも祈っていることが聖書のあちこちに記されています。

エジプトから出た当時、二百万人もの民にモーセがいち

いち会って、彼らの問題を解決することはできませんでした。しかし、モーセはすべての民を心にいじくって、自分のいのちまで渡せる愛をもって顧みしました。ですから、神様はモーセについて「彼はわたしの全家を通じて忠実な者である。」と言われたのです。

皆さんも同じです。御霊の歩みに入った分、多くをいじくることができます。その時は、いくら多くの使命でも十分に果たせます。たとえば、皆さんにゆだねられた聖徒が五百人ならば、すべてを毎週訪問できません。信仰が弱い聖徒や、緊急な問題がある聖徒はよちよち顧みるようになりますが、1年に1、2回訪問する聖徒もいます。

しかし、本当に全家を通じて忠実であろうとするならば、しよちゆう会おうが会うまいが、すべての聖徒をいつも心にいじくっているのです。訪問礼拝を何月間にも一回もささげられない聖徒であっても、心にはいつもいじくっているなら、神様が働いてくださるのです。それで、どうしても必要な時は、心に働きかけて、特別に祈ったり訪問するようにさせたりして、たった一回、短い時間会っても、良い実に変えられるようになるのです。

これは、自分が怠けて訪問しないで、「その代わりに祈っているから」と言い訳する姿とは全く違います。いのちを尽くして使命を果たそうと努力するけれど、「私が直接顧みられない分野までも、父が顧みて下さい」と祈る心が、どれほどまどかしくて切ないのでしょうか。 そのような心の香を受けられるので、神様がご自身で働いてくださるのです。

聖徒を顧みることだけでなく、他のすべての使命でも同じです。あらゆる分野に同じ時間と努力を傾けなければならないのでなく、あらゆる分野に心と思いと最善を尽くして、心にいじく、実を結ぶことが、まさに全家を通じて忠実である秘訣です。ところが、ある人は「多くの使命を任せられれば、全部よく果たせないうらから、いっそ一つ、二つだけ引き受けて最善を尽くしたら、全家を通じて忠実ではないだろうか」と言う人もいます。しかし、まことに忠実な人ならば、神の国のためにもっと多くの働きをしようと、使命を求める心が熱いのです。死にかけている魂のために献身しようとする心が熱いから、何としてでも使命を求めようになります。ですから、自分がよくやれそう一つ、二つだけ果たそうということと自分が、すでに全家を通じて忠実であることとはほとんど違っています。また、皆さんが必ず覚えるべきことは、神の全家を通じて忠実である人は、私的な面でも誠実に行ない、実を結んで栄光を帰すようになるということです。もしある人が教会では熱心なのに、家庭は全く顧みなかったり、学校や職場では不誠実な人だと思われたりしているなら、「あの人は本当に忠実な働き人だ」とほめられるのでしょうか？

忠実な人は心そのものがすでに誠実で真実なので、神の国だけに忠実であるのではなく、あらゆるところで誠実に行なうようになります。だからといって、必ず一位になるべきで、実績が一番良くなければならぬのでなく、少なくとも誠実にすべき事を果たす人だと認められなければならないということです。

もちろん、事の先後を決めるべき時は、確かに神様が下さった務めと使命のほうが大切であり、もっと多くの魂を救うことが先です。しかし、だからといって、神の働きだけ熱心にして、他のところでは不誠実な姿を見せたら、この時は神の御前でも本当に忠実な心で使命を果たしているというよりは、肉の忠実であったり、一時的な熱さで熱心であったりになりかねません。

次回は、信仰の五段階の人々が体験する無限の霊の世界について伝えます。

いのちの息といのちの種

創造主の神は、永遠に変わらない愛を分かち合えるまことの子どもを得るために、驚くべき創造のみわざを施されました。これを読んで人を創造された神の本来のみこころとその深い愛が感じられますように。

「天地万物と人を造られた創造の摂理は神の愛の表れ」

「初めに、神が天と地を創造した。…神は仰せられた。『光があれ。』すると光があった。神は光を見て良しとされた。」(創世記1:1-4)

神は天地創造以前から、声を帯びた光のかたちで、初めの宇宙に存在しておられました(ヨハネ1:1、第一ヨハネ1:5)。永い歳月が流れた後、ひとりおられた神は永遠に愛を分かち合うことのできるまことの子どもを得るために、人間耕作を計画されます。そして、人間の救いの摂理を全うするために、ひとりおられた初めの空間を大きく四つに分けて、御父、御子、御霊の三位一体の神がおられる空間、救われた神の子どもたちがとどまる空間、人間耕作に必要な様々な存在がいる空間、人を創造して耕作する空間を造られました。そして、地球を造って、天地万物を創造し、土地のちりて人を造られました。

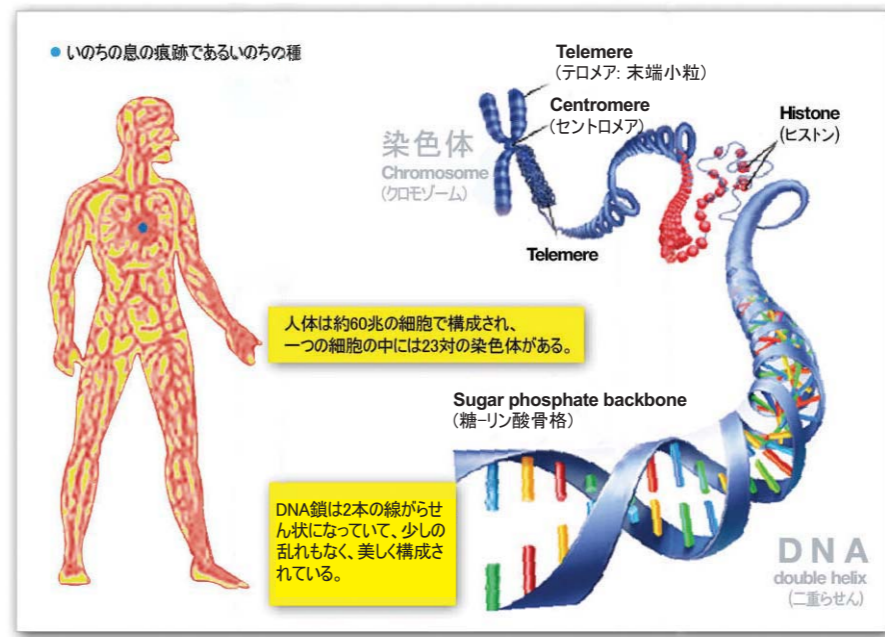
「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女に彼らを創造された。神は彼らを祝福された。…」(創世記1:27-28)

このように、神がご自分のかたちに創造された人の姿は、どれほど美しく愛らしかったのでしょうか？ 神は彼が万物の霊長として生きていけるように祝福されました。

「初めに造られたアダムは神が吹き込んでくださった『いのちの息』が全身を調節し、最上の状態だった」

「神である【主】は土地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人

染色体の何番のどの部分にどの情報が入っているか知っておられます。理解を助けるために、たとえばみましょう。オートメーション化された自動車工場があるとしましょう。第1ラインではエンジンを作って、第2ラインでは車体を作って、第3ラインではハンドルを作ります。この他にいろいろな部品を作る生産ラインがあります。いくつかの生産ラインは一つに集められて、最後には自動車一台が完成します。すべての生産ラインの電気のスวิตช์を入れれば、それぞれの部品が同時に作られて、完成品になるのです。細胞核の中にあるDNAとは、このように



は生きものとなった。神である【主】は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。」(創世記2:7-8)

創造主の神の御手から初めの光が出続けたので、土で人を形造ったら、そのまま完全な人の形になりました。土で頭を造れば完全な人の頭になり、からだを造れば、そのまま完全な人のからだになりました。どれほど驚くべき不思議なことでしょうか。しかも、神がアダムの鼻に「いのちの息」を吹き込まれると、心臓が動き始め、血が巡り、からだのすべての細胞が生きて働きました。脳も活動し始めて、見て聞くことができ、手と足を動かすこともできました。

「エゼキエル37章」にも、この「いのちの息」の働きが出てきます。これはたとえ幻で見たことでも、霊的な原理は同じです。神は干からびた骨に筋をつけ、肉を生じさせ、皮膚をおおわれました。そして、息を与えられると、彼らは生き残り、自分の足で立ち上がりました。七年患難中に殉教したふたりの証人が生き返る時も、「いのちの息」が入って働きます(黙示録11:11)。

このように「いのちの息」は「いのちのみわざを

起こす元であることがわかります。神が吹き込まれたいのちの息がアダムのからだで一番中心になる細胞核に入ると、アダムは生きて動き始め、神と交わることでできる霊的な存在になったのです。それで、アダムは霊の世界であるエデンの園に住むようになり、「いのちの息」はアダムの子孫に自然に伝えられました。

エデンの園にいるアダムの子孫は、宿って成長するすべての過程で、いのちの息の影響を受けました。からだの各部分を生成する細胞を作るので、みな背も高く、顔もきれいでハンサムです。皮膚は白いミルク色を帯びて、髪は金髪をしています。頭からつま先まで何一つ欠点がなく、完ぺきな姿をしています。

エデンの園の人は青年時代を少し過ぎるまで成長します。そして、ある時点になれば成長が止まりますが、それからは老化することもなく、その状態をそのまま維持して生きようになります。これは「いのちの息」がからだを根本的に調節する細胞核を支配して従えるからです。ところが、アダムが罪を犯してからはすべてが変

りました。

これがまさに「いのちの種」です。神がいのちの息を取っていかれると、アダムは死ぬようになります。霊の空間であるエデンの園から追い出されて、肉の空間であるこの地上で生きなければなくなり、歳月が流れると老化して、結局、死んで墓に葬られました。それでも神がいのちの種をわずかに残されたので、エデンの園をなつかしがつて、聞き従わなかった罪を徹底的に悔い改めて、天国に入れました。

それでは、不従順の罪を犯したアダムの子孫はどのようにして天国に入れるのでしょうか？ 愛の神は子どもが宿って6か月になった時に、霊の中にいのちの種を入れて、心臓の一番中心になる細胞核に植えつけられます。これにより、この地上に生まれるすべての人に、神の力が込められた初めの光を少し取って与えてくださるのです。それで、人は動物と違って、後の世があることを何となく感じます。〈伝道の書3章11節〉に「神のなさることは、すべて時にかなまって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。」とありますが、人が永遠を思うのは「いのちの種」の働きなのです。

「アダムが罪を犯した後、『いのちの息』は取られ、その痕跡である『いのちの種』だけが残った」

「神である【主】は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。神である【主】は人に命じて仰せられた。『あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。』(創世記2:15-17)。

アダムはエバと一緒にエデンの園で生んで、ふえて、永い歳月を過ごしました。しかし、神のことばを心に留めなくて、自由意志の中で善悪の知識の木の実を取って食べてしまいました。神は罪を犯したアダムとエバからいのちの息をほとんど取っていかれて、小さい種のような痕跡だけを残されました。

これがまさに「いのちの種」です。神がいのちの息を取っていかれると、アダムは死ぬようになります。霊の空間であるエデンの園から追い出されて、肉の空間であるこの地上で生きなければなくなり、歳月が流れると老化して、結局、死んで墓に葬られました。それでも神がいのちの種をわずかに残されたので、エデンの園をなつかしがつて、聞き従わなかった罪を徹底的に悔い改めて、天国に入れました。

それでは、不従順の罪を犯したアダムの子孫はどのようにして天国に入れるのでしょうか？ 愛の神は子どもが宿って6か月になった時に、霊の中にいのちの種を入れて、心臓の一番中心になる細胞核に植えつけられます。これにより、この地上に生まれるすべての人に、神の力が込められた初めの光を少し取って与えてくださるのです。それで、人は動物と違って、後の世があることを何となく感じます。〈伝道の書3章11節〉に「神のなさることは、すべて時にかなまって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。」とありますが、人が永遠を思うのは「いのちの種」の働きなのです。

完全に回復できません。ところが、霊の方法ではいくらでも完全に回復できます。神がやけどによって損なわれた部位を新しく造ってくださればよいのです。



万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区ク3ン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

Manmin Central Church
Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com

MANMIN TV
Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org

WCDN World Christian Doctors Network
Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com